

# 風土に根ざした 文化伝統を大切に

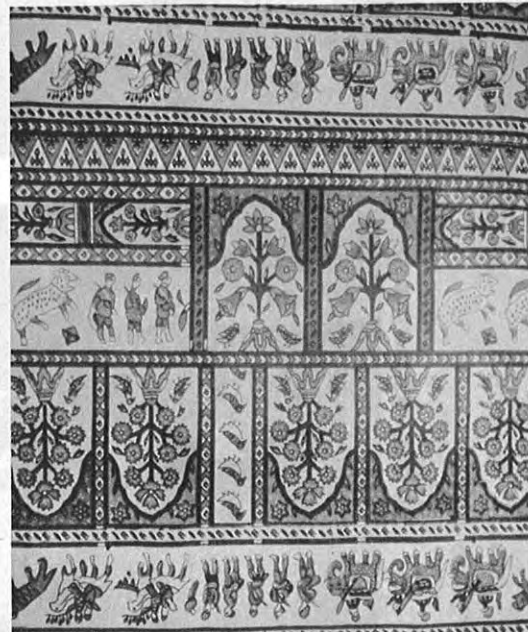
古来からの風土に根ざした勝れた文化伝  
社会的に価値のある遺跡、あるいは文化  
に満ちた伝統工芸を掘り起し、これをひと  
のあることです。

統というものは大事にしたいものです。  
の保存も大切なことですが、昔から伝わる野趣  
つの地域の産業として伸ばすことも大変に意義

## 伝 統 工 芸



▲染色作業工程



▲この柄は、絹物の着尺、帯、ネクタイ、袋物、  
テーブルセンター等に使用されています。



▲中村二人さん (61) 三代目中村初義さんより技法が引き継がれて  
おります。

天草更紗は文政年間(約百五十年前)この地に南蛮  
から伝わりました。  
製作方法は、型紙捺染の技法をとっており、二百の  
型紙があります。生地は木綿か絹の白地で染料を混ぜ  
たのりを塗り乾燥します。  
南蛮風の人物や花鳥の柄と茶褐色、納戸色、濃い緑  
が天草更紗の特徴です。

## 天草更紗 (本渡市)

## 浄心寺阿弥陀堂 (球磨郡湯前町)

球磨路を歩くと、いたるところ素晴らしい文化財に接す  
ることができます。

湯前町にある、「浄心寺阿弥陀堂」とその境内は、これら  
の代表とってよいでしょう。

本堂の正面にたたずめば、向って右手に7重(現4重)・9  
重の石造層塔が天空へ伸び、かつては左手に13重の塔(現八  
代市)もそびえていたのです。

## 文 化 財



重厚な茅葺  
き屋根をもつ  
本堂の扇を開  
けば藤原時代  
の優美な作風  
を伝える阿弥陀  
三尊が慈悲  
心あふる姿  
で安置されて  
います。

これらはい  
ずれも、鎌倉  
前期の作品で、  
国の重要文化  
財に指定され  
ています。

## 鍋田横穴群 (山鹿市鍋田)

山鹿市には装飾古墳が多い、その中でも  
全国的に知られているのが鍋田横穴群です。

59基の横穴からなりますが、装飾がある  
ものが9基。なかでも27号墳の装飾は特に  
すぐれています。両手をひろげ足をふんば  
った大の字形の人物像、弓と矢、大型の靫  
(ゆき)矢をつがえた弓を並べ、その間に矛  
(ほこ)、靫(とも)、小型の靫、鎌(かま)の図  
を配して、下方には馬と大型の盾(たて)と  
を彫っている。一見雑然としているよう  
ですが、全体としてはまとまりをしめしてい  
ます。また7号の入口横には矢をつがえた  
弓が浮彫りにされています。国指定の重要  
文化財です。

